

⑨日本国特許庁(JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報 (U)

昭54—168195

⑫Int. Cl.³
A 47 F 3/08

識別記号 ⑬日本分類
101 J 74

庁内整理番号 ⑭公開 昭和54年(1979)11月27日
7150—3B

審査請求 有

(全 2 頁)

⑮陳列容器

—104号

⑯実 願 昭53—65897

⑰出 願 人 株式会社博報堂

⑱出 願 昭53(1978)6月18日

東京都千代田区神田錦町3丁目
22番地2

⑲考 案 者 小田洋晴

⑳代 理 人 弁理士 野本陽一

横須賀市湘南鷹取5丁目45番U

㉑実用新案登録請求の範囲

図面の簡単な説明

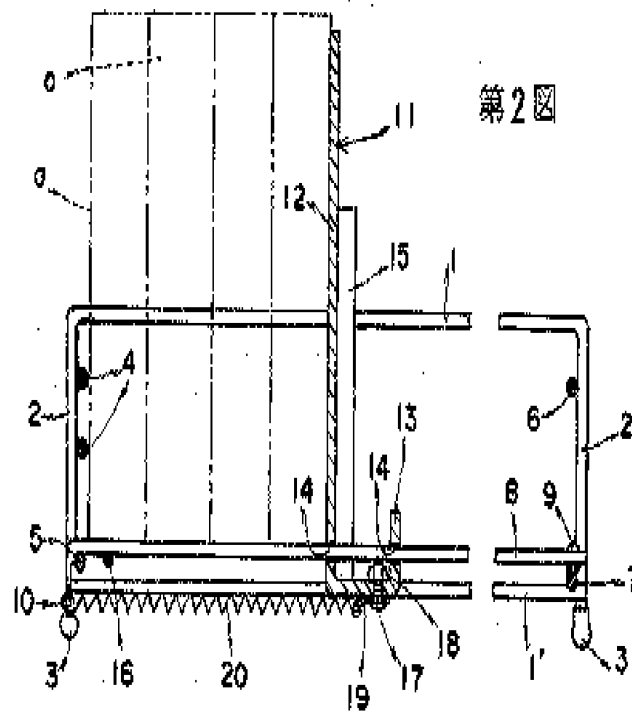
金属線で構成され、前後方に延びる縦枠と、該縦枠前端に設け商品を当接する前枠と、上記両縦枠の前端と後端に横架固設した支持枠間に縦枠と平行に架設した一対の案内枠からなり、該案内枠を側面略J字型になる押板の下端に穿設した揺動孔に揺動自在かつ略垂直に貫挿するとともに該押板をコイルスプリングにより上記前枠方向に常時弾性付勢して構成し、商品を前枠と押板間に挟持して整列することを特徴とする陳列容器。

図面は本考案陳列容器の実施例を示すもので、第1図は第1実施例を示す陳列容器の斜視図、第2図は同側断面図、第3図は押板を拔出する状態の側断面図、第4図は他の実施例を示す平面図である。

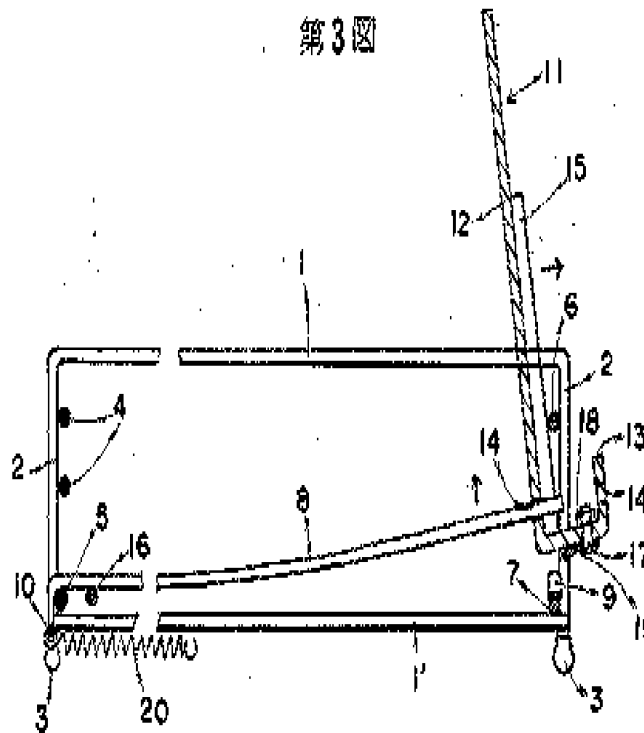
1……縦枠、1……下枠、2……支持脚、4……前枠、5、7……支持枠、6……後枠、8……案内枠、11……押板、12……押圧板、13……屈折片、14……揺動孔、20……コイルスプリング、a……商品。

第1図

特開 昭54-168195(2)



第3図



第4図

